

No. J01	Aグループ	年月日	令和5年7月7日(金)
---------	-------	-----	-------------

設問

[問い1]

- 1)「やたら体調面の心配をされる」というのは、例えばどういうことがあったのでしょうか。
- 2)職場で「周囲から気を遣われるのはしょうがない」と思うのは、どうしてなのでしょう。
- 3)気を遣われて「そんなことされてもなあ」と感じるのとことですが、どうしてなのでしょう。
- 4)現在の平野さんが担当している研究開発のお仕事は、休職前と比べてどのような感じなのでしょう。
- 5)居場所がないと感じているのとことですが、どういう感じなのでしょう。
- 6)復職するにあたり現在の体調や伝えておきたいことについて、どなたかにお話はしましたか。

[問い2]

事例Ⅰの CCt10 (相応しい・相応しくない)

良理由：冒頭の CL の「働きづらくなった」というお話から、がん治療のための休職を経て復職した経験や、現在感じている働きづらさについて語っていただくことができ、信頼関係が構築できている。

事例Ⅱの CCt10 (相応しい・相応しくない)

悪理由：職場の人から気を遣われて「そんなことされてもなあ」と感じている CL の気持ちに焦点をあてられず、職場で感じている居場所がない気持ちを充分語っていただくことができなかった点。

[問い3]

がん治療で1年休職し、治療後復職した CL の経験を語っていただく中で、職場で周囲の人から心配されることに對し、しょうがないと理解する反面、戸惑いや疎外感を抱いている状況で、職場において CL の体調に関する正しい理解が不足しているように見受けられる。また、CL の仕事について、戻ってくる席は保証されている約束だが、後任者が元の部署に戻らないことについて CL は「話が違う」と感じており、上司が CL に求める職責についての相互認識が足りずコミュニケーション不足が見受けられる。

[問い4]

「辛い」治療を終えて、職場復帰したものの疲れやすい等、体調は万全ではない CL が働きづらさを感じながらも勤務していることを労い、更なる信頼関係の構築に努める。そのうえで、CL の体調について正しい理解を職場に求め職場全体での理解促進を提案する一方、勤務を続けるにあたり必要な配慮について、CL の意向と会社の認識を合わせ、CL が過度の配慮に委縮することがなくなるよう働きかける。また、CL の仕事について会社の期待する役割を CL と相互で認識できるよう場の提供等も提案する。最終的には、CL が治療で仕事を断念するのではなく治療と仕事を両立しながら働き続けられるよう支援する。

--	--	--	--

設問

[問い1]

[問い2]

事例Ⅰの CCt10 （相応しい・相応しくない）

理由：

事例Ⅱの CCt10 （相応しい・相応しくない）

理由：

[問い3]

[問い4]
